

泉中校区 小中一貫教育だより

平成 30 年 10 月 泉中学校・泉小学校・中村町小学校 発行

小中一貫教育 三校合同研修会を行いました

夏休み中の8月23日（木）に、泉小、泉中、中村町小の職員が泉中に集まり、三校合同の研修会を行いました。三校で、「これからの道徳教育について」をテーマに、道徳教育の意義と、道徳の授業の作り方について学ぶことができました。

小中のつながりを意識して、こんなことを学びました

学習指導要領の改訂に伴い、これまで行われてきた道徳が、「教科化」することになりました。小学校では平成 30 年度より、中学校では平成 31 年度より、「特別の教科 道徳」としての学習が全面実施になります。

これまで泉中校区小中一貫教育では、『『学びの基本』の定着のもと学び合い、学びを深める子』『読書や交流・体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を身につけた子』を目指す子ども像としています。その目指す児童像に迫るために、「児童・生徒が学び合いのよさを実感できる手立ての追求」を特色ある取組と位置付け、小中職員相互の授業参観などを行ってきました。今回の研修会は、道徳の教科化を受けて、従来の教科だけではなく、子どもたちの心を育てる道徳教育についても、小中での理解を深め、9 年間の学びのつながりを意識できるように実施しました。

研修会では、金沢市研修相談センターの田中指導主事をお招きして、「道徳の教科化で変わること、変わらないこと」や「道徳教育を進める上での留意点」、「評価について」など、これからの道徳教育のために役立つお話をたくさん聞くことができました。また、演習も行われ、小グループでのグループワークでは、小学校、中学校の職員が混じり、授業において児童生徒に考えさせたいことや、話し合いの中心となる場面での発問、導入や終末での学習活動の工夫など、具体的な教材を取り上げて、授業を作る際にはどのような工夫ができるかを話し合うことができました。今回の研修で学んだことを生かして各小学校、中学校での道徳の授業づくりを行い、9 年間を通じた子どもたちの心の成長に生かしていければと思っています。



三校の職員で、道徳について学びました。



グループ協議で、道徳科の授業づくりについて、小中の職員が一緒に考えました。



演習でグループで話し合ったことを交流し合い学びを深めました。

第2回相互授業参観

泉中校区では、目指す子ども像を「学び合い、学びを深める子」「豊かな人間性や社会性を身に付けた子」として、取組を進めています。学習にかかわる授業改善を目的に3校の授業をお互いに参観する相互授業参観の第2回を10月22日(月)に泉中学校で行いました。中学校の授業を泉小学校と中村町小学校の教員が参観し、その後分科会で授業改善に向けて普段行っている工夫を交流し、さらなる改善のためにどのような手立てが考えられるか、また、それぞれの学校で行っている「自学ノート」の取組についても協議しました。

【授業の様子】

- 1年生
 - ・とても静かな印象を受けた。もうちょっと元気があっても良いのでは？
 - ・技術でワークシート、板書、動画を関連させながら説明していて分かりやすかった。
 - ・国語と数学の授業では、子どもたちが集中して静かに取り組んでいた。
- 2年生
 - ・「まなボード」をうまく使っていた。グループ学習が学び合いになっていた。
 - ・活動のとき、視点や目的を明確にしているのがよかった。
 - ・グループが男女混合なのによく活動できていた。
- 3年生
 - ・人前で大きな声で話がしっかり出来る、挙手が出来ている。
 - ・中学校でもこんなに話し合う姿が見られて活発な意見交流が出来ていることに驚いた。
 - ・中学校でも生き生きと話し合う姿が見られた。シェアタイムが自然と身についている。



1年生の様子



2年生の様子



3年生の様子

【分科会の様子】

- ・グループ活動を目的にするのではなく、必要感があるからグループ活動を入れることが大切。そして、そのグループ活動をどう活かしていくかが課題である。
- ・数学では意見を確認し合うためのペアワークが中心である。答えが1つに決まってしまうものを学び合うのは難しいが、いろいろな方法があることをグループ活動などで共有したりしている。小学校とのつながりも意識した発問をしている。
- ・「スマイルノート」という名前の自学を宿題として取り組んでいるというのが現状。
- ・自学ノートをテスト勉強としてもさせている。(何をやれば良いか自分で決められない児童も多い)
- ・毎日自学ノートを宿題としているが、小学校での指導の成果できちんと学習できている。

